

町立図書館おすすめ

BOOK

図書館においてある本の中から
おすすめのものをピックアップ。
バラエティに富んだ本を紹介します。

『コロスの母に会いに行く』

岡野 雄一 著



認知症の母との実体験をもとに描かれた本です。笑えて泣けます。

町立鷹巣図書館

TEL0996-86-1111

町立指江図書館

TEL0996-88-6500



17文字のリアルなつぶやきをお楽しみください。

女子会川柳

シティリビング編集部+ボープラ社編集部 編

思ふ
物静かなれど笑顔の忘れ得ぬ友は病む夫残し逝き
しと
日の光杉の間に照り映えて屋根の白霜徐じよに融
けゆく
潮引きて磯焼けのせし石の面に番の海鳥鳴き交は
しをり
ひたむきに初孫喜びし姪逝きて五年経ぬ孫も三人
増えて
人形を人と思ひて繰り返す胸骨圧迫心をこめて
窓越しに樹木の揺るる彼方には雪雲切れて移り行
く見ゆ
わが夢にたまさか微笑む人見しを亡夫と思ひて起
き上がりたり
悴みし幼きわが手握りつつ温めし祖母の手年経て
吉田 映子 松元 瞳子 吉田 映子

Nagashima Bukeyei
なかしまぶんげい

長島文芸

明神俳句会

大寒や海峡の渦蒼く炎ゆ
寝過ごすな一言添へて寒見舞
焼き芋の大ぶり小ぶりじやんけんぱん
雜煮箸捏ねてめでたや今朝の膳
初メジロ群れて飛び交ふ古墳かな
段畠の百段千枚初山河
ねんねこに伝はる嬰の寝息かな
三年を綴るつもりの日記買ふ
搖らぐ火に願ひを込めて鬼火たく
大寒の澄みし星空山の朝
初漁や思ひきり水脈ひろげゆく
正月や母のいびつな餅を焼く

長島短歌会

中山タマ子 中山美代子
坂口 静子 山寄加代子
中橋 藤七 大堂 正弘
関佳代美 二階堂恵子
坂之下典子

洗わんと作業着を叩き零れ出る百円ふたつ温もり
てをり
坂道を父親と上り笑顔向けランドセル 操
を見てゐつ
静脈の透き見ゆる手に文字を書く乱るも書けるは
有難きかな
吐息つき囲炉裏の灰に文字を書く亡き父ありきわ
が幼き日 岩下 横平 頬子
ためらはず乳飲み子を連れ下刈りの昔は山に猪が
居らざり 岩下 房代
米尾 和子

創生短歌会

温寒の境に堪えてびつしよりと内側濡れている窓
硝子 竹之内重信
いくたびもわが家の家計助けきし実家の稻田は荒
るるにまかす 石原百合子
桐の木の枝払われし青幹は目鼻もあらぬ人のごと
立つ 宮元 司
食い物の合わざるわれに来よと言う嫁の誘いに踏
み切れずいる 大塚 洋子
昨日より空家となりし友の家ひとめぐりして猫の
目とあう 村上 義彦
八十年使って古りし手と足がまだまだ動く働きを
する 野村 益信
砂浜に流れて来たる貝殻の自伝消したるごとき白
さよ 山下 学

一般作品

〔短歌〕 良い國を力ら合せて成す事よ拗れなくして良成す
事よ 町田 未則

太平の世に哀しく親と子の断絶知りて 吾を見つめ
朱に染まるはるかな富士の輪郭に鳥ら向かひて元
旦暮るる 天地 雪舞
老松に風の音あり山門をお参り並び進み手合わせ
中仮屋辰子

妙身となり我取り巻くか春の精
〔俳句〕

宗方 清明